

平成 31 年 4 月 24 日
公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

「未来を切りひらくコミュニケーションって!？」
第 8 回 TURN ミーティング 開催
令和元年 5 月 12 日(日) 手話通訳・文字支援付き



平成 31 年 2 月 2 日 (土) に開催した第 7 回 TURN ミーティング 撮影: 富田了平

アートプロジェクト「TURN」の可能性について考え、語りあう「TURN ミーティング」。8 回目となる今回は、異なる文化、環境や人生背景など様々な特性をもつ人々が交じりあえる「コミュニケーション」について思考します。多様な人たちと、その人らしさをいかに伝えあうことができるのか。ゲストに、100 年先のコミュニケーションを考える「未来言語」共同代表の松田崇弥氏等をお迎えし、今年度より TURN のプロジェクトデザイナーを務めるライラ・カセムとともに、従来の言語に頼らない様々な表現方法と伝え方、発信する側と受け取る側の可能性を語り合います。

■開催概要

- ・タイトル: 第 8 回 TURN ミーティング
- ・日時: 令和元年(2019 年)5 月 12 日(日) 13:30~15:30 (開場 13:00)
- ・会場: 東京藝術大学美術学部中央棟 1F 第 1 講義室 (東京都台東区上野公園 12-8)
- ・入場料: 無料 ※事前申込不要、手話通訳・文字支援付き
- ・登壇者: 松田崇弥(ヘラルボニー代表取締役、「未来言語」共同代表)、ライラ・カセム(TURN プロジェクトデザイナー)、日比野克彦(TURN 監修者、アーティスト、東京藝術大学美術学部長・先端芸術表現科教授)ほか
- ・主催: 東京都、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団) 特定非営利活動法人 Art's Embrace、国立大学法人東京藝術大学

■当日のスケジュール

13:00	開場、受付
13:30	開会の挨拶 日比野克彦(TURN 監修者)
13:45～15:30	「未来を切りひらくコミュニケーションって!？」 松田崇弥(ヘラルボニー代表取締役、「未来言語」共同代表) ライラ・カセム (TURN プロジェクトデザイナー)ほか

■登壇者



松田崇弥(まつただかや)

1991年5月8日生まれ。岩手県出身。双子の弟。東北芸術工科大学、企画構想学科卒。「異彩を、放て。」をミッションに掲げる福祉実験ユニット、ヘラルボニー代表取締役。福祉施設に所属するアーティストの作品をプロダクト化する「MUKU」代表。100年先のコミュニケーションを考える「未来言語」共同代表。強烈なアイデンティティを持つ知的障害のあるアーティストのクリエイティビティをブランディングすることで、社会に新しい価値の提案を目指す。最近ではワークショップデザインや、アートによる地域プロジェクトなど、プロダクトデザインに留まらない展開を見せる。



ライラ・カセム

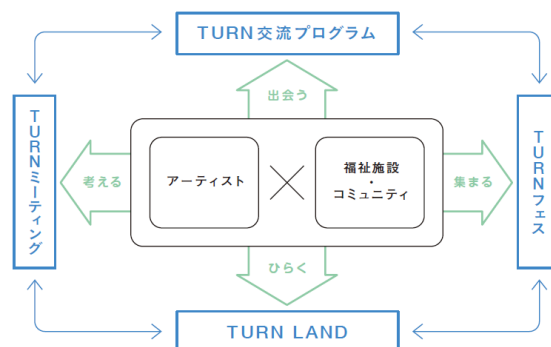
日本生まれ世界育ちのイギリス人。多人種、障害者など、様々なアイデンティティを持つことから自身を「一人国連」と呼ぶ。デザイナーとして自らのスキルを社会福祉の現場での専門性と掛け合わせ、障害などを持つアーティストの社会参加と経済自立を促すための商品開発やデザインプログラム・ワークショップの企画・運営などを国内外で行っている。東京大学先端科学技術センターでは、「異才発掘プロジェクト ROCKET」にも関わっている。2019年4月よりTURNのプロジェクトデザイナーを務める。

※出演者やプログラム内容等は、やむを得ない事情により変更になる場合がございます。

■TURNとは

TURNとは、障害の有無、世代、性、国籍、住環境などの背景や習慣の違いを超えた多様な人々の出会いによる相互作用を、表現として生み出すアートプロジェクト。アーティストの日比野克彦監修のもと、東京2020大会の文化プログラムを先導するリーディングプロジェクトとして平成27(2015)年度に始動した。平成29(2017)年度からはオリンピック・パラリンピックの東京2020公認文化オリンピアドとして事業を実施。様々な分野の機関と連携・協力してプログラムを展開していくことで、一人ひとりが異なる“その人らしさ”を尊重できる関係性のある豊かな社会の創造を目指している。そして、日本における新しいダイバーシティの試みとして国内外へ発信するとともに、「TURN」の考え方や仕組み、場をレガシーとして継承していく。<http://turn-project.com>

TURN



■TURNを創り出す4つのプログラム

TURN 交流プログラム

アーティストが、福祉施設や社会的支援を必要とする人の集うコミュニティへ赴き、その場所を利用する人や支援者等との交流を重ね、相互に関係しあうプロセスを構築します。



TURN LAND

TURNを日常的に実践する場「TURN LAND」を展開します。福祉施設やコミュニティが、アーティストとともに参加型のプログラムを企画します。場所のもつ従来の機能に、市民が集まることができる地域にひらかれた文化施設としての役割が加わり、TURNを日常的に実践する場をつくります。



TURN フェス

上野の東京都美術館を会場に、各地で開催している「TURN 交流プログラム」や「TURN LAND」等が一堂に会します。作品展示やワークショップ、トークイベントやオリジナルプログラム等の実施を通して、TURNの理念を体感する空間、アクセシビリティやダイバーシティに関する理解を深める機会をつくります。



TURN ミーティング

TURN ミーティングは、TURNを共有し、意見交換する開かれた場です。参加アーティストや交流先メンバーなど関係者とともに、スペシャルゲストを招いたトークやTURNについてのディスカッション等を繰り返します。



- ・監 修：日比野克彦（アーティスト、東京藝術大学美術学部長・先端芸術表現科教授）
- ・プロジェクトディレクター：森 司（アーツカウンシル東京 事業推進室 事業調整課長）

●アーツカウンシル東京

世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しています。新たな芸術文化創造の基盤整備をはじめ、東京の独自性・多様性を追求したプログラムの展開、多様な芸術文化活動を支える人材の育成や国際的な芸術文化交流の推進等に取り組めます。また、2020年に向けて、文化プログラムを牽引するプロジェクトを展開しています。 <http://www.artscouncil-tokyo.jp>



<本リリースに関するお問い合わせ>
公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 広報担当：糸園、圓城寺
TEL：03-6256-8432 E-mail：press@artscouncil-tokyo.jp